



光 さんさん

吉原小学校だより

6月②号

平成28年6月16日発行

校長 池田 直哉 在籍数50名

夢をもち 共に学び きたえる

心豊かな児童の育成

郷土を愛する人づくり

吉原地区は、大きな変化に見舞われています。土地造成による開発、工場や企業の誘致、道路の整備は、正に今そのまただ中にあります。また、学校統合により、吉原小学校は平成29年度末に閉校となります。こんな時こそ、子どもたちには、郷土を強く印象づける学びをさせなければならないと考えます。茨城県の教育目標の一つにも、「郷土を愛し 協力しあう心を育てる」がありますが、郷土を愛する人づくりの大切さを改めて感じています。吉原地区の将来を創造する力をもつ子どもたちを育てたいと考えます。

過日、「阿見吉原まちづくりニュース」を発行している龍ヶ崎工事事務所の方が来校しました。昨年度は、吉原地区と小学校の歴史について座談会、6年生の地層見学やまちづくりの出前授業でコラボレーションしました。今年も、何か協力していただける機会はないかと模索してみます。

会議室に設けた吉原小ミュージアムも少しずつ整備されてきました。地域の皆様にも、是非ご覧いただければと考えております。また、吉原小にまつわる貴重な資料や写真、エピソードなどございましたら、お知らせいただきたいと思います。ご来校、ご連絡をお待ちしております。

吉原小ミュージアム

現在の展示は・・・

- ①航空写真:昭和39、44、49、59、平成2年
- ②校舎イラスト:明治14年
- ③まちづくりニュース;阿見吉原の里 風土記
- ③持久走大会優勝者ペナント:昭和56~平成11年度
- ④卒業記念寄贈:昭和47年度、昭和51~54年度、昭和61年度
- ⑤卒業記念制作:平成元年度、平成3年度
- ⑥卒業アルバム:昭和60年度~

学力の課題対策はここから

学力調査として、県学力診断のためのテスト（3学年から1月に実施）と全国学力学習調査（6学年で4月実施）があります。児童の学力の全てがこれで計れるとは思いませんが、これらにも対応できる学力も身に付けさせなければならないと考えています。特に課題として取り上げたいのは、全国学力学習状況調査の国語B問題に見られる、主として「活用」に関する問題です。目的や意図に応じて、自分の考えを書くことや文章の内容を的確に押さえて読むことが挙げられます。これらの課題解決に向けての、本校の取り組みを紹介します。家庭での学習の参考にしてみてください。

本校の国語力対策

- ① 読書推進:「みんなにすすめたい一冊の本」年間読書50冊目標、
「よしわらフレンズ」読み聞かせ会
- ② 6年間で身に付ける学びのプログラム;
言語活動プログラム(音読、作文、視写等)
マスタープログラム(カタカナ、慣用語、ことわざ)
- ③ 校内研究:「伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを表現するための国語科学習指導の在り方」(平成28年度)
- ④ 国語科授業の工夫:単元構成・学習過程・学習計画の工夫、目的意識・相手意識をもたせた授業、条件作文



お花の苗をさしあげます!

マリーゴールドとサルビアの苗が大量に余りました。地域の方もどうぞ。職員室に声をかけてください。

お子様を通してでも大丈夫です。種類と本数をお知らせくだされば、帰りに持たせます。

吉原小アラカルト

通学路安全マップ(6/9)

通学路の点検をして、危険箇所の写真を撮り、通学路の地図に貼って全員で確認しました。自分の身は自分で守る!



学びのプログラム検定試験

毎月2回(第1・3月曜日)に、図書室で行います。それぞれプログラムの課題に取り組みます。



学校統合準備委員会

6月2日に第1回が開催されました。地域や学校、PTA代表22名と教育委員会からは教育長をはじめ9名が集まり、事務局からの説明(組織や今後の計画)を受けました。委員長には、吉田みゆきさん(福田)が任命され、今後協議進行役を務めていきます。

第2回の8月下旬開催に向けて、6月23日(木)校内検討会議が開催されます。皆様の出席をお待ちしております。